

弘 前 大 学

# 國 史 研 究

第 137 号

---

本州アイヌと津軽エゾ ― 九戸城の戦いの「夷人」から遡って ―	新井 隆一
戦国時代の伊達領国にみる村請の村 ― 段銭帳の分析 ―	遠藤 ゆり子
奥羽仕置と稗貫氏 ― 『稗貫家譜』の分析から ―	熊谷 隆次
〔書評と紹介〕	
福田友之著 『津軽海峡域の先史文化研究』	工藤 清泰
長谷川成一著 『北の世界遺産 白神山地の歴史学的研究 森林・鉱山・人間』	脇野 博
『青森県史 資料編 近現代 6 高度経済成長期の青森県』	神田 健策
	79
	76
	72
	51
	28
	1

---

弘 前 大 学 國 史 研 究 会

― 彙 報 ―

◎ 弘前大学国史研究会研究大会が、平成二十六年十月四日、弘前大学附属図書館三階ラーニングスペース・スクエアにおいて開催された。本大会では、左記の公開講演と研究報告があった。

〔公開講演〕

「日本倉庫令研究の現在」

弘前大学人文学部講師 武井紀子氏

〔研究報告〕

「宝永岩館地震による被害と地形形成」

弘前大学大学院地域社会研究科客員研究員 白石睦弥氏

その後、国史研究会総会が開催され、総会では、会務報告、会計監査報告、会計報告が行われた。

ついで新役員の改選があつて、会長には長谷川成一会長が再任され、役員任命については、会長一任が了承された。副会長には小口雅史氏が再任され、新たな委員として武井紀子氏が任命された。委員の互選により、代表委員には関根達人委員と福井敏隆委員が選任された。新役員は別掲の通りである。

なお、本会の発展に功績があり、長年委員を務められた黒瀧十二郎委員は、会長より名誉会員に指名された。

(F)

弘前大学国史研究会役員名簿 (平成二十六年度)

- |        |                          |
|--------|--------------------------|
| ○ 会 長  | 長谷川成一                    |
| ○ 副会長  | 小口雅史                     |
| ○ 代表委員 | 関根達人 福井敏隆                |
| ○ 委 員  | 齊藤利男 瀧本壽史 武井紀子 竹内勇造 古川淳一 |
|        | 本田 伸 三浦忠司                |
| ○ 監 事  | 篠村正雄 坂本寿夫                |

本会機関誌『弘前大学國史研究』への投稿について  
投稿規定

◎論 文 四百字詰 60枚程度を原則とする（縦書き、以下同様）

◎研究ノート 四百字詰 20枚から30枚程度

◎研究余録 四百字詰 10枚程度

◎史料紹介 四百字詰 10枚から30枚程度

◎その他（書評・研究動向・歴史随想など） 四百字詰 10枚程度

◎ワープロでの執筆に際しては、一段に付き32字×23行で組んで下さい。字数は右の規定の範囲で計算して、それを越えないようにして下さい。

◎フロッピーディスクによる投稿も可能です（事前に編集委員会へ御相談下さい）。行数・字数は、ワープロ執筆と同様に組んで下さい。なお、プリントアウトした原稿を添付のこと。

◎横書きを希望する時は、あらかじめ本会へご相談下さい。

◎原稿締切 一月末日と八月末日の年2回

※投稿に際しては、図表を最小限におさえ、完成原稿でお願いします。また、原稿は必ず御手でコピーをとって保存しておいて下さい。投稿は本会会員に限ります。

※掲載については、原稿を受領後、編集委員会で審査し、一ヶ月以内に御通知します。なお、文中に掲載許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、掲載決定後、著者の責任において権利者から許可の承諾書を取得して下さい。

※掲載分の論文等については、抜刷50部をさしあげます。

※本誌掲載の論文等を転載する場合は、本会の諒承を得て下さい。

平成二十六年十月三十日

弘前大学 國史研究 第一三七号

036-8560 弘前市文京町一番地

弘前大学人文学部日本史研究室内

編集者  
発行者

弘前大学 國史研究会

振替口座 〇二三〇〇一六三四番